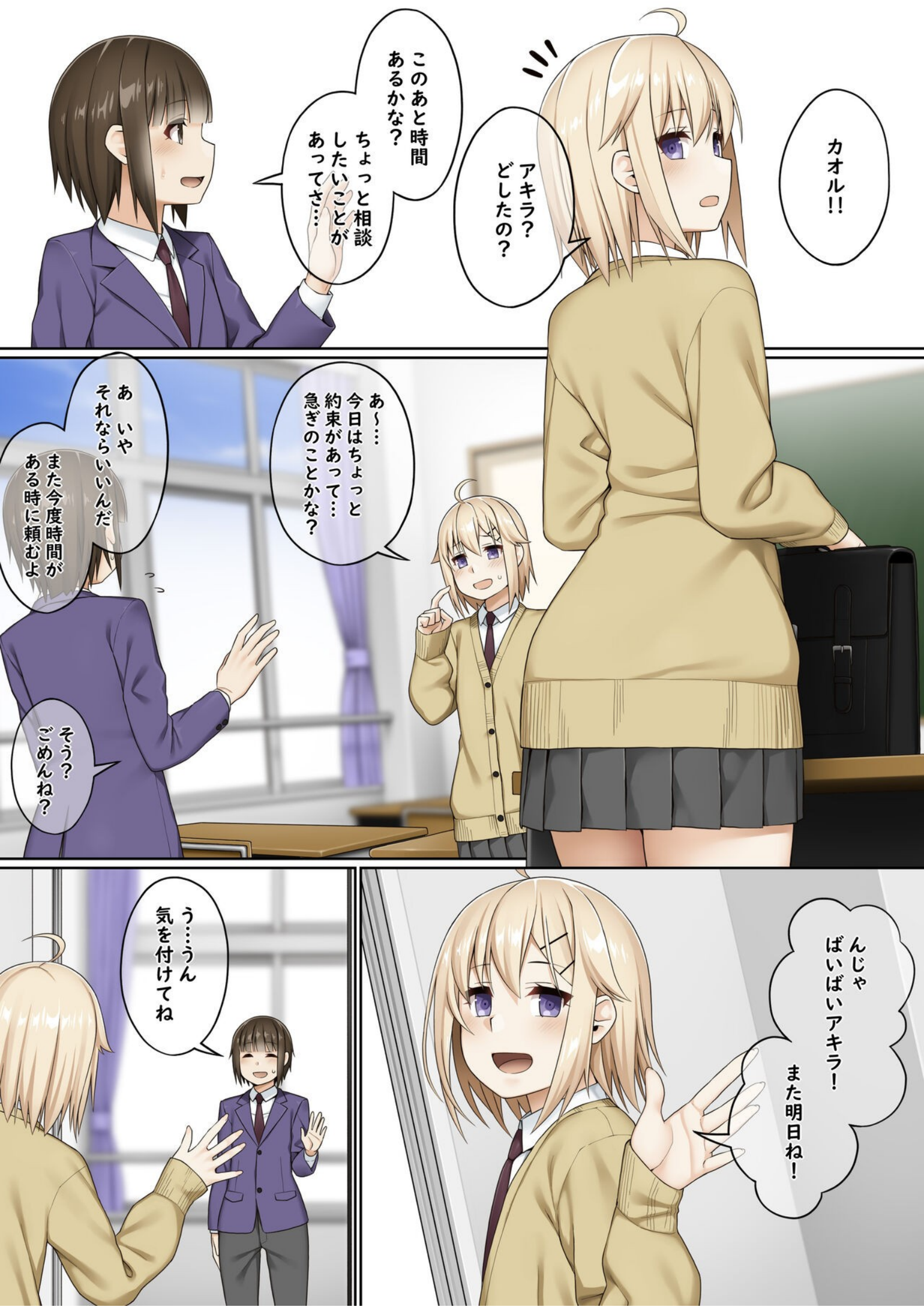
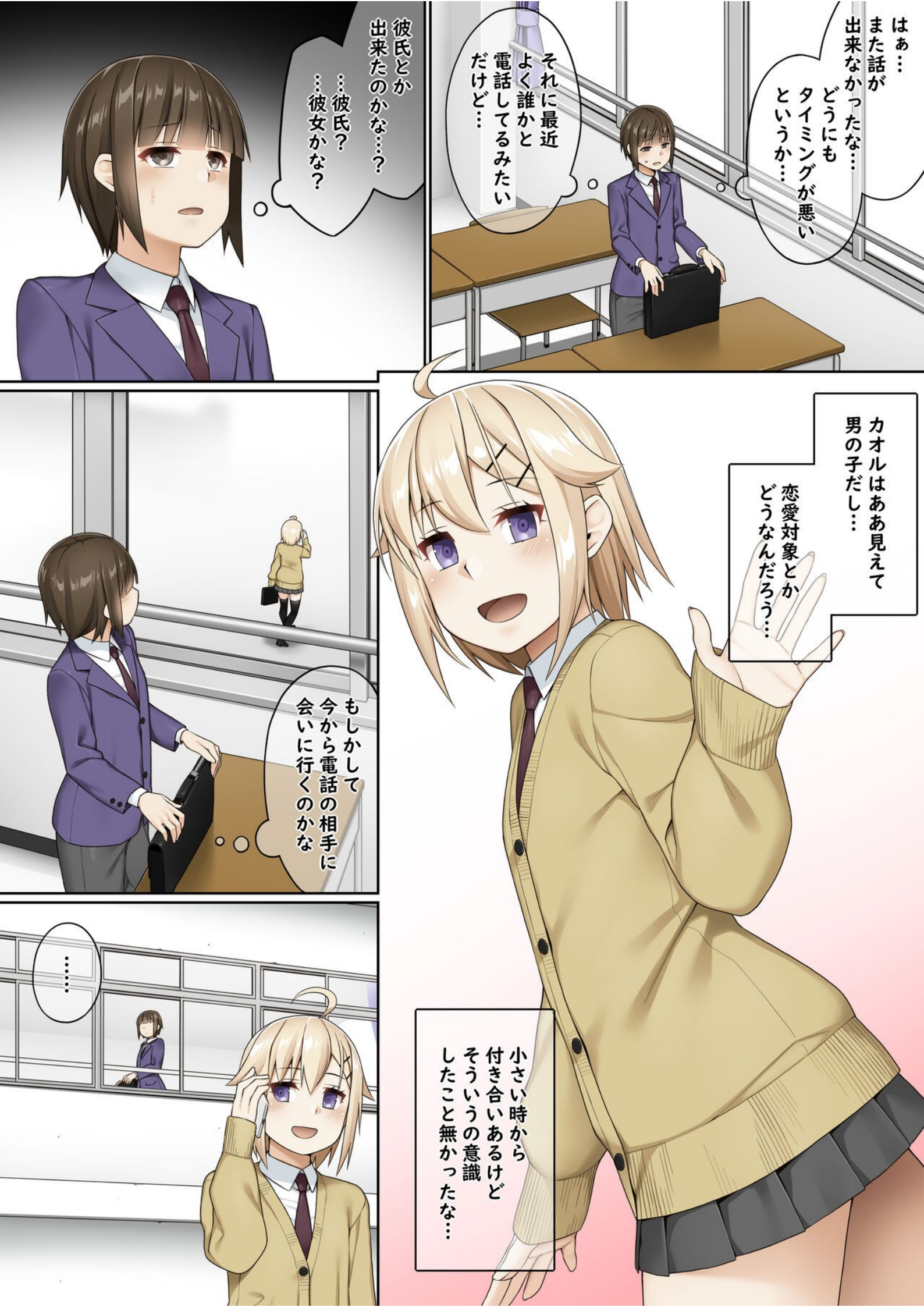
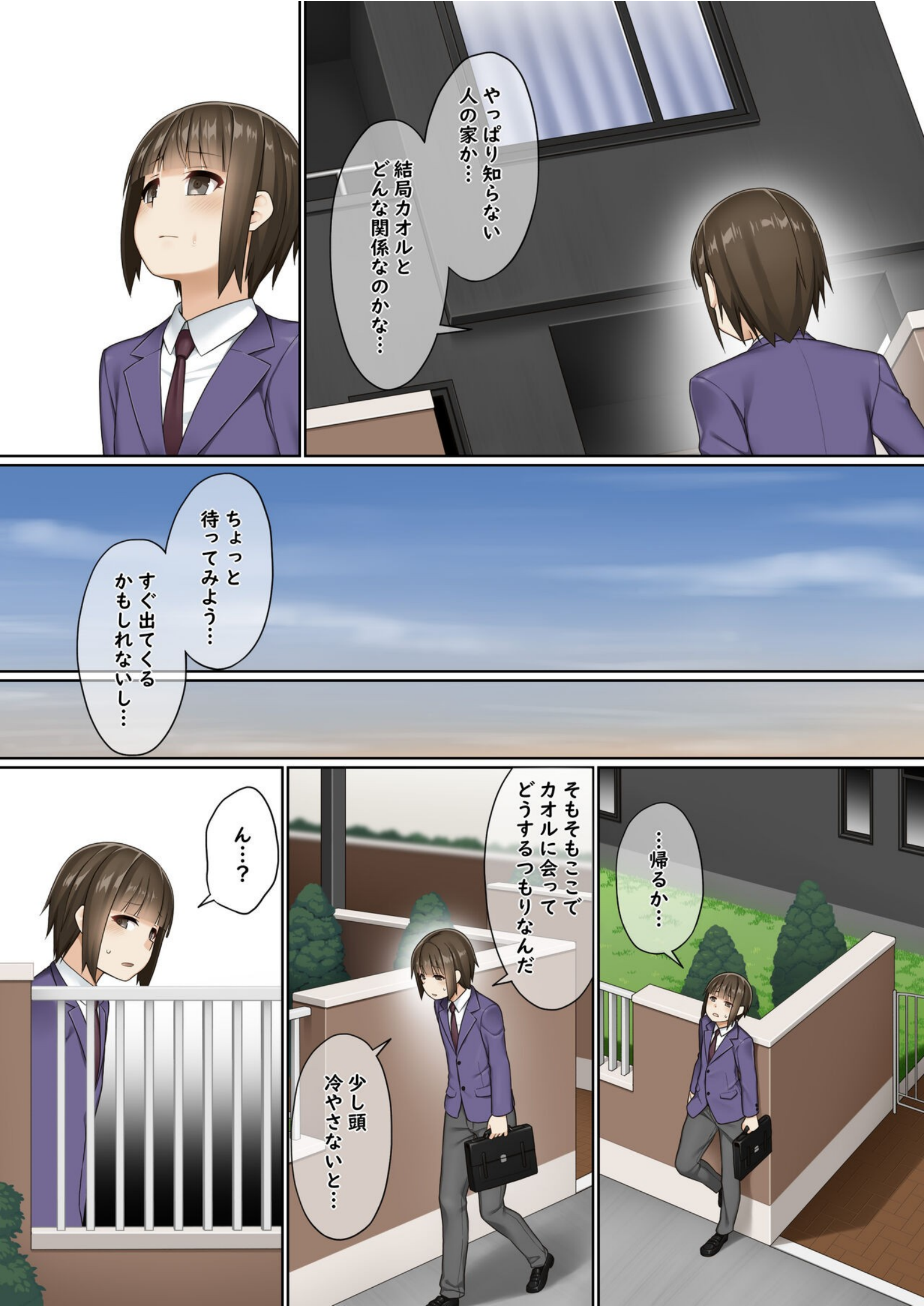
ふたなりとの
Futanari tono tukiai kata
つきあいかた


カオル!!
アキラ?
どしたの?
このあと時間
あるかな?
ちょっと相談
したいことが
あってさ…
あ~…
今日はちょっと
約束があって…
急ぎのことかな?
あ いや
それならいいんだ
また今度時間が
ある時に頼むよ
そう?
ごめんね?
んじゃ
ばいばいアキラ!
また明日ね!
う…うん
気を付けてね


はぁ…
また話が
出来なかったな…
どうにも
タイミングが悪い
というか…
それに最近
よく誰かと
電話してるみたい
だけど…
彼氏とか
出来たのかな…？
…彼氏？
…彼女かな？
カオルはああ見えて
男の子だし…
恋愛対象とか
どうなんだろう…
もしかして
今から電話の相手に
会いに行くのかな
……
小さい時から
付き合いあるけど
そういうの意識
したこと無かったな…

…はぁ…
いくら気になるからって何をしてるんだ僕は…
♪
コレじゃただのストーカーだよ…
♪～
別にカオルが誰を好きになってもいいじゃないか
なんでこんなに気になっちゃうんだろ…
あっ…
家に入って行っちゃった…
ここまでかな…
うーん…


やっぱり知らない人の家か…
結局カオルとどんな関係なのかな…
ちょっと待ってみよう…
すぐ出てくるかもしれないし…
…帰るか…
そもそもここでカオルに会ってどうするつもりなんだ
少し頭冷やさないと…
ん…？

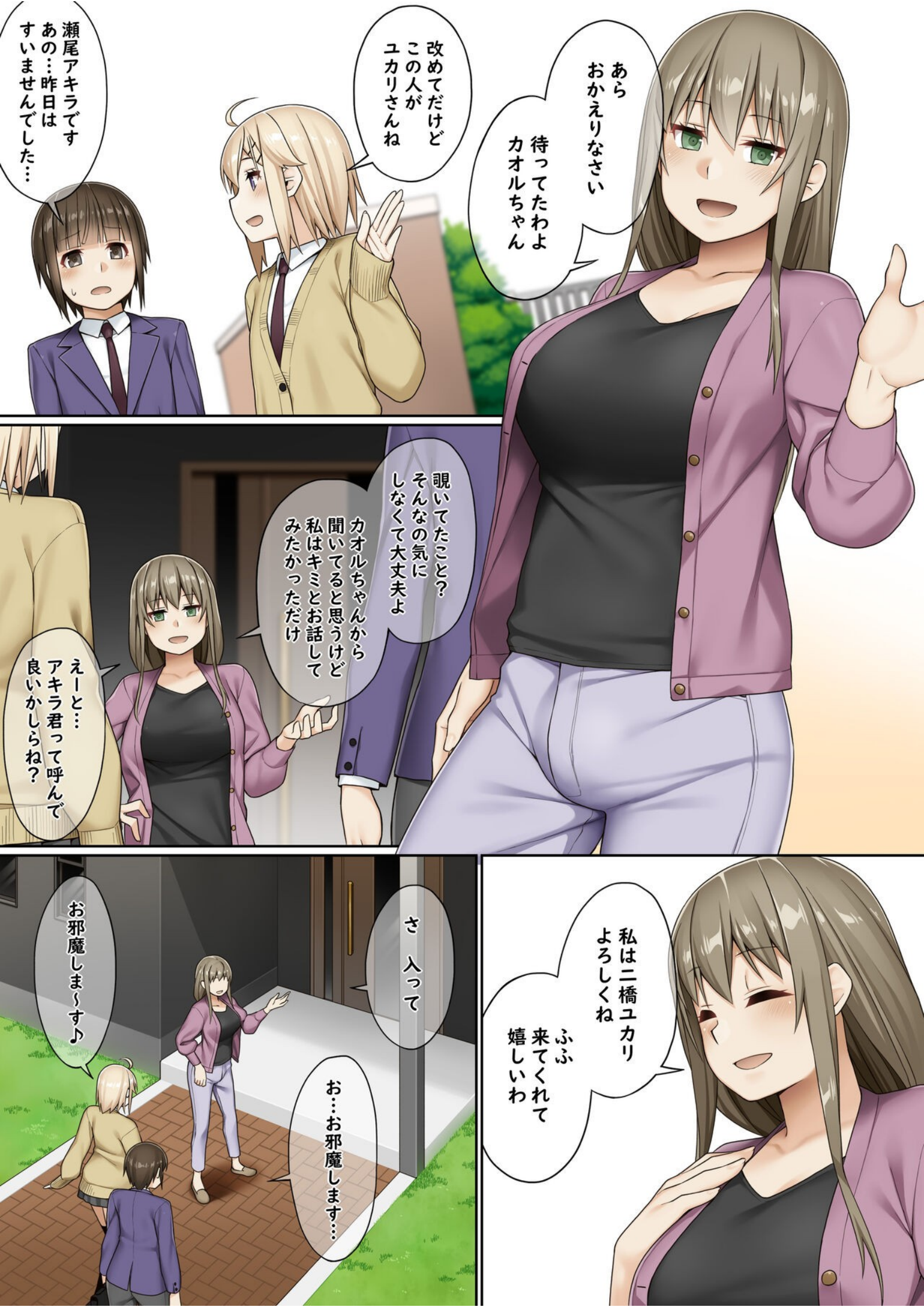
……!?
カ　カオル？
おッ
はッ
ばちゅんっ
ばちゅっ
ばちゅっ
んあッ
くぽっ
くぽっ
カ　カオルがエッチしてる…？
相手は女の人…
ふたなりってやつなのかな…？
初めて見た…

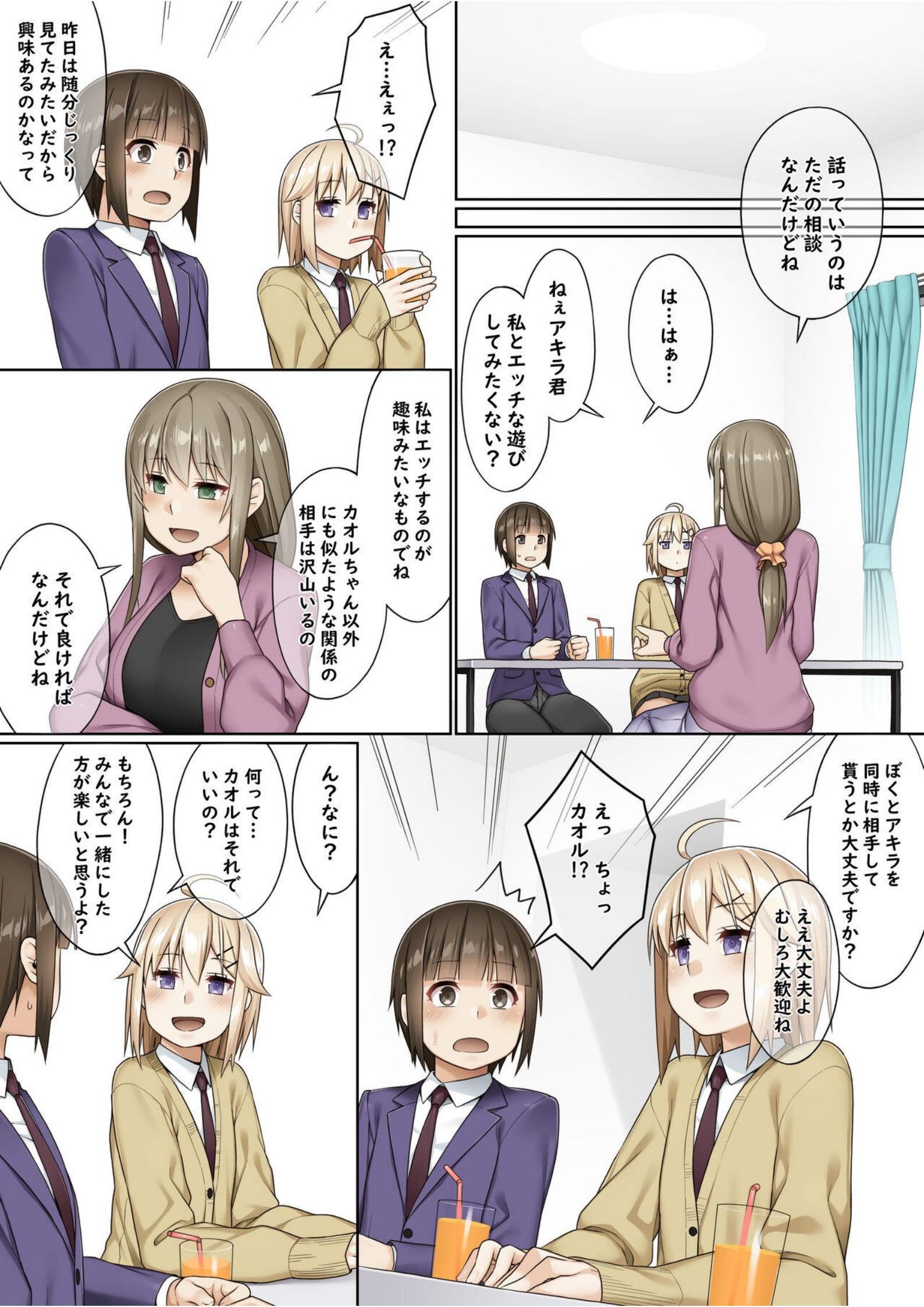
ほらあんまり声出してると外まで聞こえちゃうわよ
カーテンだって閉めてないんだし
そっ…そんなこと言われてもっ…
はっ
はっ
ふふ わかるわよ 気持ちいいと勝手に声出ちゃうものね
折角だからもっと可愛い声聞かせて貰おうかしら♪
ぐぃっ
ぐぃっ
ぶちゅっ
ずちゅ
あれってお尻の穴に入れてるってことだよね…？
あんな激しくして痛かったりしないのかな…？

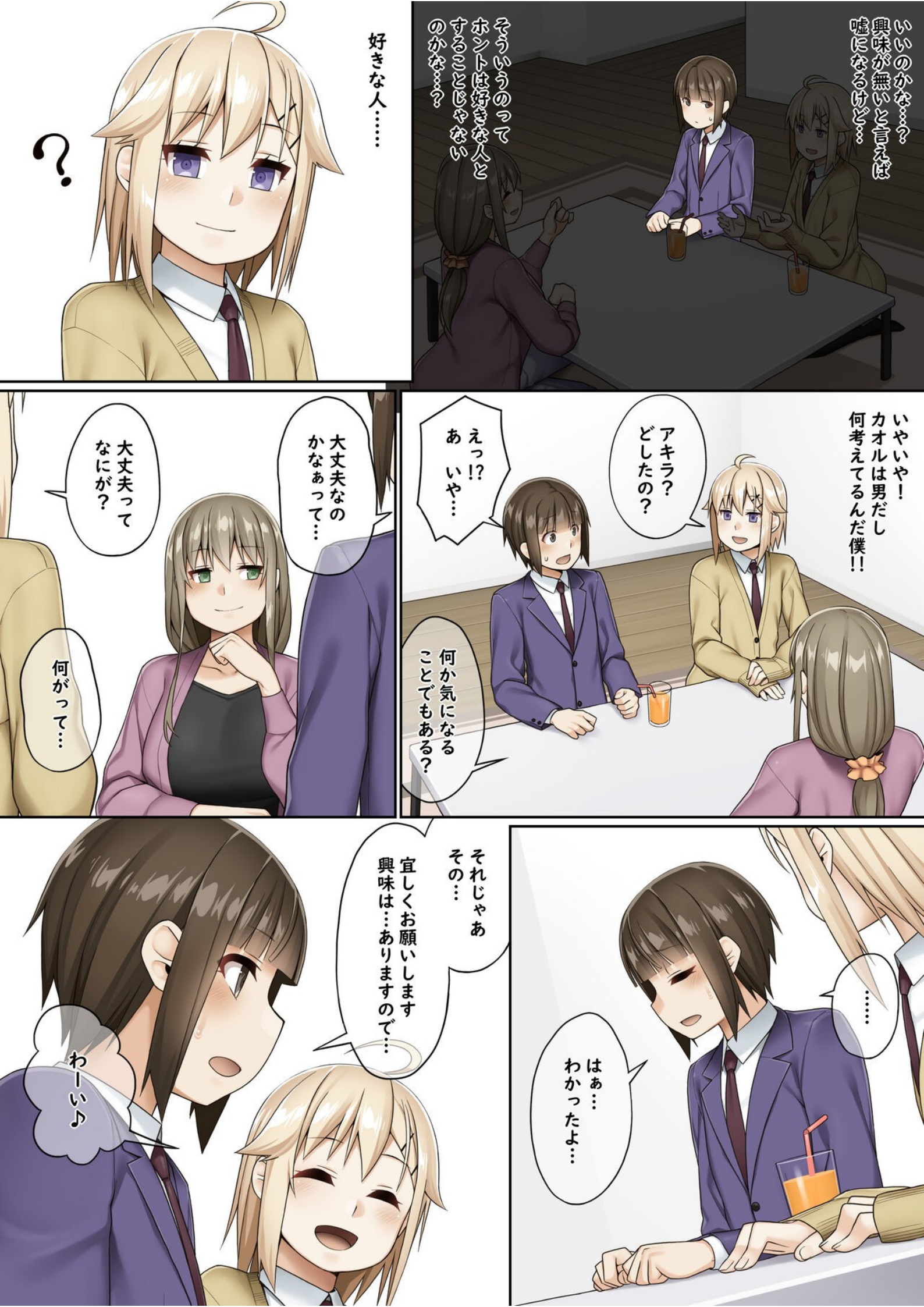
ほら早速ギャラリーが来たみたいよ？
カオルちゃんの声聴かせてあげましょ
え…えっ!?
誰か見てるんですか!?
って…
ア…アキラ？
あ…う…
あら？お友達かしら？
え　えっと…幼馴染の子…なんですけど…
タッ

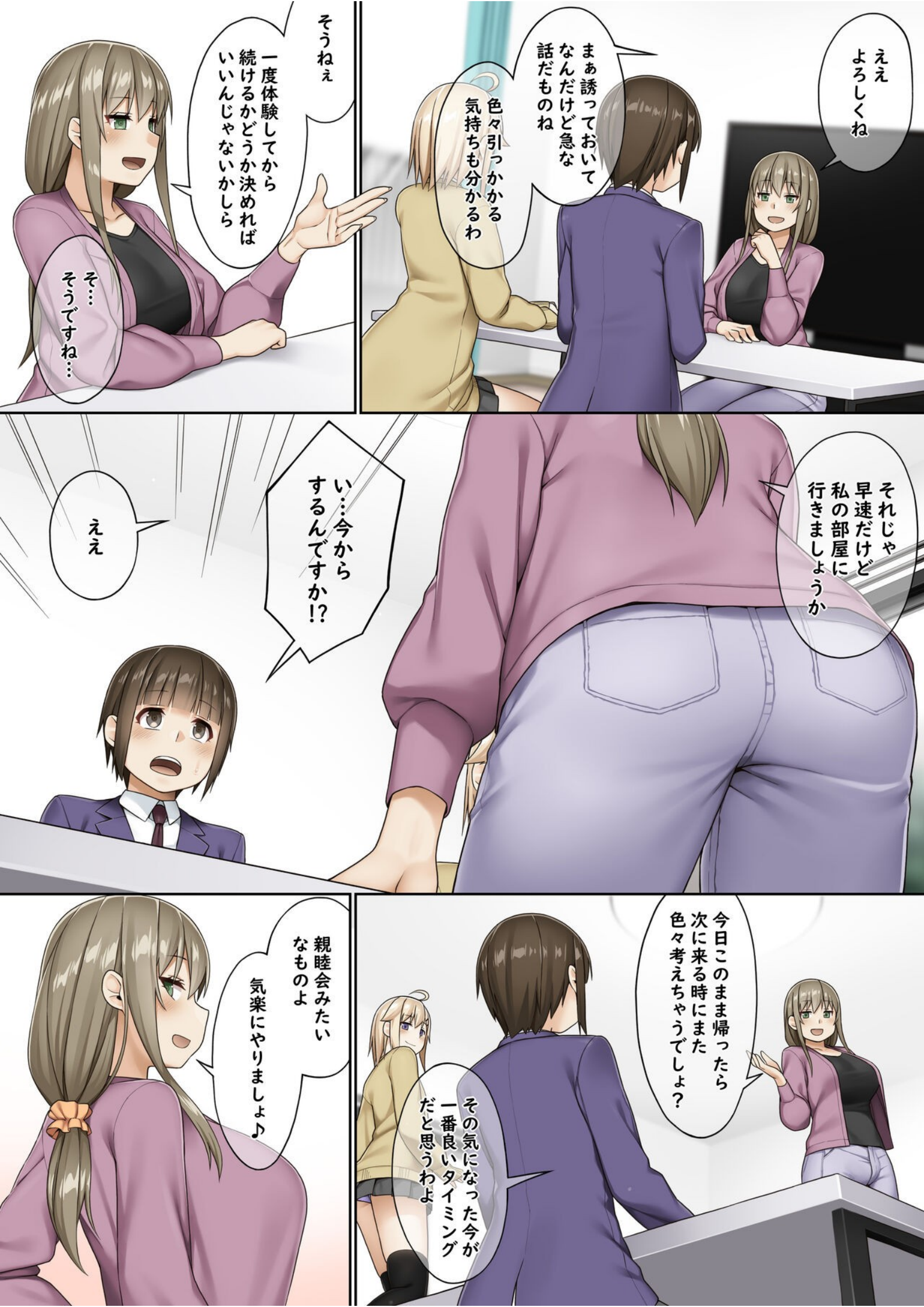
気まずい…
はぁ～
カオルと顔を合わせづらすぎる…どうしたものかなぁ…
ビクッ
ア～キラッ♪
カ…カオル!?
どしたのそんな大きい溜息吐いて
なんか嫌なことでもあった?
もしかして昨日のこと気にしてたり?
そ…その…昨日はごめん…覗くつもりなんて無かったんだけど…
いいよいいよぼくは全然気にしてないから
たださ～昨日一緒にいた人がアキラを連れてきてって言っててね～
う…そりゃそうだよね…

ああでも別に
怒ってるとかじゃ
無かったよ
なんかアキラと
お話してみたいって
言っててね
話？僕と？
話ってなんだろ…？
正直気は進まないけど…
でも僕が覗きを
したのは事実だし
謝りには行った方が
いいよね…
で
今日とか
予定大丈夫かな？
連れてくるのは
いつでも良いって
言われてるんだけど
早い方がいいかなって
えっと
うん
大丈夫だよ
そう？
良かった～♪
そういえば
あの人とは…その…
付き合ってるの？
うーん…
憧れてはいるけど
付き合ってるとは
違うかなぁ？
今のところは
友達って感じかも
え？
そ…そうなの？
あ
ユカリさーん
アキラ連れてきたよ～


あら
おかえりなさい
待ってたわよ
カオルちゃん
改めてだけど
この人が
ユカリさんね
瀬尾アキラです
あの…昨日は
すいませんでした…
覗いてたこと？
そんなの気に
しなくて大丈夫よ
カオルちゃんから
聞いてると思うけど
私はキミとお話して
みたかっただけ
えーと…
アキラ君って呼んで
良いかしらね？
私は二橋ユカリ
よろしくね
ふふ
来てくれて
嬉しいわ
さ
入って
お…お邪魔します…
お邪魔しま～す♪


話っていうのは
ただの相談
なんだけどね
は…はぁ…
ねぇアキラ君
私とエッチな遊び
してみたくない？
え…えぇっ!?
昨日は随分じっくり
見てたみたいだから
興味あるのかなって
私はエッチするのが
趣味みたいなものでね
カオルちゃん以外
にも似たような関係の
相手は沢山いるの
それで良ければ
なんだけどね
ぼくとアキラを
同時に相手して
貰うとか大丈夫ですか？
ええ大丈夫よ
むしろ大歓迎ね
えっ ちょっ
カオル!?
ん？なに？
何って…
カオルはそれで
いいの？
もちろん！
みんなで一緒にした
方が楽しいと思うよ？


いいのかな…？
興味が無いと言えば
嘘になるけど…
そういうのって
ホントは好きな人と
することじゃない
のかな…？
好きな人……
？
いやいや！
カオルは男だし
何考えてるんだ僕!!
アキラ？
どしたの？
えっ!?
あ いや…
何か気になる
ことでもある？
大丈夫なの
かなぁって…
大丈夫って
なにが？
何がって…
……
はぁ…
わかったよ…
それじゃあ
その…
宜しくお願いします
興味は…ありますので…
わーい♪


ええ
よろしくね
まぁ誘っておいて
なんだけど急な
話だものね
色々引っかかる
気持ちも分かるわ
そうねぇ
一度体験してから
続けるかどうか決めれば
いいんじゃないかしら
そ…
そうですね…
それじゃ
早速だけど
私の部屋に
行きましょうか
い…今から
するんですか!?
ええ
今日このまま帰ったら
次に来る時にまた
色々考えちゃうでしょ？
その気になった今が
一番良いタイミング
だと思うわよ
親睦会みたい
なものよ
気楽にやりましょ♪

カオルちゃんの時も思ったけど
やっぱり若い子は肌が綺麗で羨ましいわ
カオルちゃん？男の子がこうやって恥ずかしがってるのが可愛いのよ？
あなたは最初から堂々としすぎなの
も～　そんなに恥ずかしがる必要ないってアキラ
うぅ…
綺麗な身体だよ？自信持ちなって♪
いやそんなこと言われても恥ずかしいものは恥ずかしいよ…
え　そうなんです？ぼくも今から恥ずかしがった方がいいですか？
もう今更よ

お…大きい…
ふたなりさんって
みんなこうなのかな…？
ん？
アキラ君？
どうかしたの？
やっぱりコレ
気になるかしら？
いや　その…
私のコレはいずれ　ね♥
今日のところは
とりあえず
アキラ君の…
なるほど
カオルちゃんと
比べると少し
大きいかしら？
こっち♪
あっ…
二人とも将来は
どんなおちんちんに
なるかしら
今から楽しみね

うう…
さて大きさはわかったけど
感度の方はどうかしらね
んっ♥
うっ…うあっ!!
ちょっ…ちょっと待っ…!!
ユカリさん激しっ…!!
ちゅっぷ
ちゅぷ
ちゅぷ

自分の手でやるのとは全然違う…!!
こんなの気持ちよすぎるっ…!!
ううっ…
ちゅぷ
ぢゅる
アキラってばすごい顔してる♪
ぼくも初めての時はそんな顔してたのかな～
ちゅるっ
なんかアキラの事見てたらぼくも興奮してきちゃった
こんなところカオルに見られてるなんて…
ぢゅる
ちゅう
ちゅぷ
ゆっ…ユカリさん…
もう…僕っ…
うっ…くう…!!
ん～?
もうえ(出)ちゃう?
ふき(好)なほき(時)にあし(出)ちゃっていいわよ♥
ちゅるるっ
うあっ!!
ちゅっ

出っ…出ちゃいますから!!
おくち離して下さっ…!!
もう…!!
ちゅぶっ
ぢゅるる
うあぁっ!!
ビュルッ
おおー出てる出てる～
アキラ気持ちよさそ～
はっ
はっ
ビュルッ
ビュルッ
ふふいっぱい出たわね気持ち良かった？
は…はい…すごく気持ち良かったです…
そうそれは良かったイった直後で悪いけどもう少し頑張れるかしら？
ちゅぽっ

え？
えっと…？
流石におくちで
気持ちよくなって
ハイおしまいなんて
キミも思ってないでしょう？
あ…まぁ…
そうですね…
そ　そうだよね…
まだ僕が気持ちよく
して貰っただけだし…
僕もカオルみたいに
されちゃうのかな…？
私もアキラ君に童貞を
捨てさせずに帰らせる
わけにはいかないしね
…はい？
アキラ君だって
男の子なんだし
興味あるでしょ？
おまんこの
具合とか♪
…僕がユカリさん
に挿れるってこと
でしょうか？
ええ
それ以外に
ないでしょう？
カオルちゃんは
経験済だし

それに私のココももう濡れちゃってるのよね
ぐにっ
アキラ君のおちんちんが欲しくてね♥
くちゅ
あの…僕全然やり方とかわからないんですけど…
ぴくんっ
そんなの気にしないの
今日はアキラ君の好きなようにやっちゃっていいのよ
少しずつやり方を理解していけばいいわ
それに私はたどたどしいエッチも好きよ
相手が慣れてないうちしか味わえないモノだからね♪

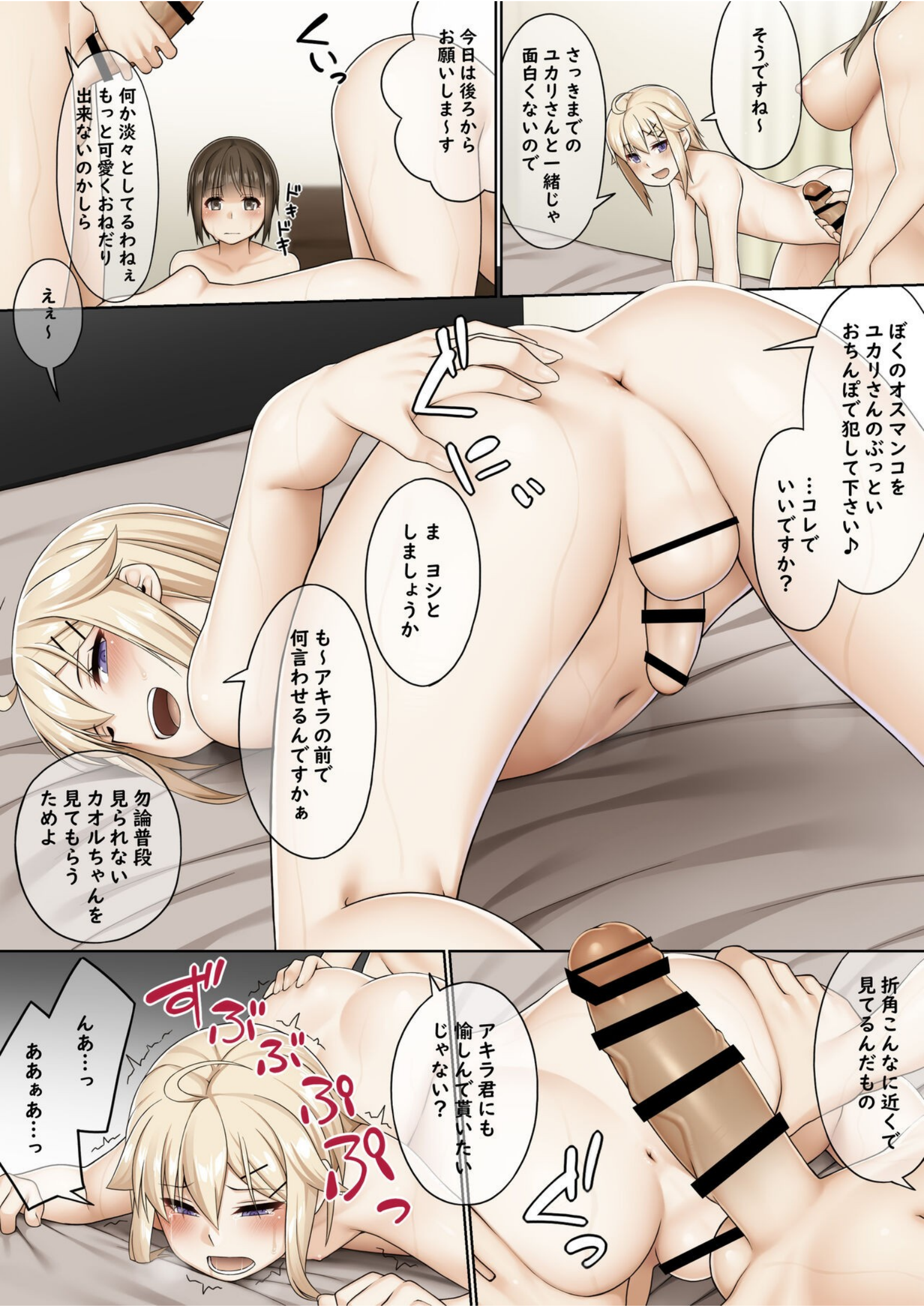
わ…わかりました
なんか間違ってたりしたら教えていただけると…
アキラ君はマジメねぇ
アキラの良いところですよ～
えと…ココで合ってます…？
くちゅ…
大丈夫よそのまま一気に…
は…はいっ…
んっ…んんっ!!
すくちゅんっ
んっ…きたぁ…っ♥

ユカリさんの中
すごく熱くてぬるぬる
してて…
これが女の人の…
いいわよアキラ君
そのままガンガン
おちんちん打ち付けて
うっ…うう…
はいい…っ
ふふ
ほーら頑張って♪
はっ
ぱちゅっ
必死な顔しちゃって
すごく可愛いわ
二人とも楽し
そうでいいな～
ぼくも何か
出来ればいい
んだけど
アキラ君はこの
ペースが一番
気持ちいいのね？
あ
そうだ♪

ね　ユカリさん
ぼくがおちんちんの相手してあげますよ
ぱちゅっ
ぶちゅっ
ばちゅ
あらいいの？それじゃお願いしようかしら
えへへ任せて♪
ぼくも結構うまくなってきたと思うんだよね～
それじゃいただきま～す♪
――んっ♥
ぱくっ
カオルちゃんは十分おしゃぶり上手じゃない
教えたことすぐ覚えちゃうんだもの
もう誰相手でも通用するわよ
え～？ほんとれふか～？
ホントよ
こんなことでウソついたりしないわよ
ちゅぷ
ちゅる
カオルがこんなに美味しそうにおちんちん咥えちゃうなんて…

あら
アキラ君のおちんちんがさっきより硬くなったわ
カオルちゃんのフェラチオ見て興奮しちゃったかしら♪
ぱちゅんっ
ぱちゅ
ばちゅんっ
ずちゅ
そっ…そんなことはっ…
おちんちんビクつかせながら言い訳しても説得力無いわよ？
ずちゅっ
ぷちゅっ
ぶちゅ
はぁっ
はっ
カオルちゃんをオカズにして射精しちゃいなさい♥
ビュルッ
はっ
くっ…うあっ…
わ～
すごいよアキラぼくはこんなに射精出来ないよ～
ビューッ
ビュルルルッ
ビュクッ
はっ
さっき射精したばかりなのに沢山出してるわ
アキラ君も将来有望ね♥

はっ
はあっ
ずるっ
良かったわよ
アキラ君
初めてのセックスは
どうだったかしら？
す…すごく
良かったです
ふふ
お疲れ様
じゃ
次はぼくの番
ですよね
ちょっとは余韻に
浸らせなさいよ
この子は
というわけで
アキラ君
悪いけど
カオルちゃんと
交代して貰える？
えっ
あ　はい！
混ざりたくなったら
いつでも声かけてね
それで？
カオルちゃんは
どう犯してほしい
のかしら？
何かリクエストが
あるならその通りに
してあげるわよ


そうですね～
さっきまでのユカリさんと一緒じゃ面白くないので
今日は後ろからお願いしま～す
ドキドキ
くいっ
何か淡々としてるわねぇもっと可愛くおねだり出来ないのかしら
えぇ～
ぼくのオスマンコをユカリさんのぶっといおちんぽで犯して下さい♪
…コレでいいですか？
ま　ヨシとしましょうか
も～アキラの前で何言わせるんですかぁ
勿論普段見られないカオルちゃんを見てもらうためよ
折角こんなに近くで見てるんだもの
アキラ君にも愉しんで貰いたいじゃない？
ぐっ
ずぶぶぶぶっ
んあ…っ
あぁぁあ…っ

あら
普段よりお尻の締め付けがキツい気がするわ
ギュウウ
もしかしてアキラ君に見られてるからかしら？
そういうの気にするタイプだったのね
意外だわ♥
ふっ
んぐっ…
んんっ
ふぅ
ぱちゅっ
ぱちゅんっ
ぱちゅっ
ほらほらカオルちゃんの可愛い声
アキラ君に聞かせてあげましょ♪
――結局

ユカリさんからの
お誘いは断る理由も
無かったので受ける
ことにした

当初の予定とは
違ったけどカオルと
話す機会も増えるし

それに正直その…
気持ち良かったし…

その日からは
連日のように
ユカリさんの家に
通うようになった

流石に何度も通えば
抵抗感も薄れ

気づけば積極的に
ユカリさんに会いに
行くようになっていった

ただ…

ぶちゅっ

ばちゅっ

ぶちゅんっ

んあっ

あぁっ

ばちゅ

最後にユカリさんの
相手をするのは
いつもカオルだった

ばちゅっ

ぶちゅっ

ユカリさんは
どちらかといえば
犯されるより犯す方を
好んでるようだし

それも仕方がない
と思ってた

仕方がないと
思ってたんだけど…

カオルが犯されてる
姿を何度も見ていて
ふと
『僕もして貰いたい』
と思ってしまったんだ
…あの…
ん？
どうしたの
アキラ君
僕も…
僕もユカリさんの
おちんちんを気持ちよく
させてあげたいです…
それじゃあ
お言葉に甘え
ちゃおうかしら？
ビキッ
…あら
そう？
びくんっ

嬉しいわ
アキラ君にもして貰いたいってずっと思ってたのよね
男の子が他人のおちんちんに奉仕するなんて嫌がるかと思って言えなかったのよ
ぴちゃ
ぢゅる
どうかなアキラ初めてのおちんちんの味は
うん…不思議な味だけど…別にイヤではないかも
あら良かったわ
これからは気兼ね無くアキラ君にも色々仕込めるわね
この日を境に僕へのプレイに変化が訪れた

まずカオルが僕に対してやけに積極的になった
ちゅぽっ
ちゅぽっ
うっ…うぁっ…
カ…カオルッ…
そんな激しくしたらすぐに…ッ!!
カオルちゃんはアキラ君のおちんちん好きよねぇ
なんだか妬けちゃうわ
ちゅるっ
ちゅっ
ちゅぷっ
初めの頃はボディタッチが増えた程度ではあったけど
今ではもう当たり前のようにフェラまでしてくるようになった
ぴゅくっ
ぴゅるるっ
うあっ!!
ぴゅーっ
ぴゅるるっ
ゴクッゴクッ

ユカリさんも最近は
僕のお尻の方を重点的に
責めてくるようになった
ちゅぴ
ちゅるる
うぅ…んっ…
ふふ
女の子みたいな声
出てるわよアキラ君
お尻気持ちいい？
まさかお尻の穴を
舐められるとは
思ってなかったけど…
アキラ君もこっち(アナル)の
才能あるみたいね
こんなすぐに
感じるように
なるなんてね♪
カオルもこんな
ことされちゃって
たのかな…
あっ…あぁっ!!
びゅくっ
ぶびゅるっ
あらあら
もうお尻だけで
イけちゃうのね♥

カオルと一緒にユカリさんに奉仕するようにもなった
はあ
ぴちゃ
ぴちゃ
はっ
ぴちゃ
ちゅるっ
カオルの提案でやり始めたことだけどユカリさんはすごく喜んでくれた
ぢゅるっ
んんっ
ぢゅぷ
んっ
ぢゅるっ
ぢゅるっ
ぢゅるっ
ぢゅるっ
んっ…射精るわアキラ君♥
全部飲んで♪
んッッ!?
んんッ

そして…
いいのかしら
アキラ君
別に無理はしなくて
いいのよ？
い…いえ
大丈夫…です
正直その…
最初からちょっと
興味はあったので…
ビキ
ビキ
…すこしだけ
怖いですけど…

あははわかる～
最初は怖いよねぇ
ぼくも怖かったよ
カ…カオルも？
そりゃそうだよ～
だってユカリさんの
おちんちんアレだよ？
挿入るわけない
って思ったよ
怖い怖いって
ヒドイわね二人とも
確かに一般的なサイズ
よりは少しだけ
大きいと思うけどね
アキラ君は
初めてなんだから
ちゃんと優しくするわよ

そのおちんちんが
既に優しく無い
んですってば
それはもう
受け入れてもらう
しかないわねぇ
アキラ君のお尻も
入念に準備したし
問題無いわよ
多分ね？
そこは問題無いって
言い切って下さいよ～
アキラが余計に
怖がっちゃうじゃ
ないですかぁ
はっ
はっ
大丈夫だよアキラ
ぼくが一緒に居て
あげるからね
こうすれば少しは
気が紛れるでしょ
え？
ちゅっ♥
ンッ!?
ちゅっ
んっ
んっ
ちゅるっ
ちゅぷ
全くもう
目の前でそんな可愛い
ことされたら困っちゃうわ

さ 行くわよ アキラ君
ぐっ
出来るだけ 力は抜いてね
ずぶぶぶ…
私も加減が効かなく なっちゃうかも しれないからね
ふふっ
ビクッ
ビキッ
ズブッ
ちゅんッ
んぐあっ!?

ほら問題無く挿入ったわ
やっぱりアキラ君もお尻の穴が優秀ね
アキラ君わかるかしら？
キミのお尻に私のおちんぽが根元まで挿入っちゃったわよ
はっ
ガク ガク
かはっ
ふっ…
んっ…ぐぅっ…
ふっ
はっ
あんまり余裕は無さそうね
無理も無いけど
ばちゅっ ずちゅっ ばちゅ
ずぶっ
私はすごく気持ちいいわよ
ギュウギュウ締め付けてきて
ぶちゅっ
ずっ

アキラ苦しそう…
ドキドキ
けどなんか今のアキラを見てると…
ばちゅ
ぐちっ
っ…アキラぁ…
はぁ
はぁ
しゅっ
しゅっ
カオルちゃん一人で始めちゃうの？
この後いくらでも相手してあげるわよ？
だ…だって…
アキラが可愛すぎておちんちんが疼いちゃって…
はっ
はっ
ばちゅ
ぶちゅっ
んんっ
んあっ

ふふ
わかるわよ
私も今すぐにでも
アキラ君のことを
滅茶苦茶にしちゃいたい
ぐらいだもの
ぶちゅ
ずっ
はっ
ぐぷっ
ずちゅ
はあっ
今日は
我慢するけどね
んっ…
アキラ君のお尻が
ヒクついてきたわ
イキそうなのね？
おあっ
ずちゅっ
かはっ
ばちゅ
ばーばちゅ
いいわ
一緒にイきましょ
アキラ君♥
ビクビクッ
んふっ…射精るっ♥

んんッ
ぴゅるっ
んあぁっ
ぶびゅるるるッ
ぶびゅるっ
びゅくっ
びちゃびちゃっ
はーっ
ぱたた
はーっ
ふふ アキラ君 お疲れ様
今日はコレぐらいにしておきましょうか

さておまたせ
次はカオルちゃんの番ね
えっ？
そんなにすぐ大丈夫なんです？
射精した後はいつも休憩挟んでませんでした？
今までは貴方のために休憩を挟んでただけよ
貴方は休憩無しじゃ疲れちゃうでしょ？
私は別に休憩なんて必要無いのよ
ホラ私のおちんちんは元気なままでしょ？
そもそも一～二回程度射精なんて出したうちに入らないわよ
全然射精し足りないぐらいだわ
あぁ～…そうみたいですね
そのうちカオルちゃんとも全力でセックスしてみたいわねぇ
その日から

僕もカオルと同じように
お尻を犯されることが
メインになった
ユカリさんは
とにかく絶倫で
僕が知る限りでは
おちんちんを一度も
萎えさせたことは
無かった

んぐっ…
はぁっ…
んあっ…!!
びゅるっ
びゅるっ
びゅるっ
もーユカリさんてば
ホントにいっぱい
出ますね
はーっ
何度お掃除してもすぐ
こんなに汚しちゃって
はーっ
ふふふ
ごめんなさいね
どろ…
ゴポッ
じゅるる
カオルちゃんと
アキラ君が可愛すぎて
おちんちんがおさまら
ないのよね
ホントいくらでも
出せちゃうわ
ちゅぷ
ちゅるっ
ちゅっ
あんまりやりすぎないで
くださいよ~?
アキラはまだ不慣れ
なんですから
ちゅるる
わかってるわよ
もう少し慣れるまで
我慢するわ

あ そういえば
前から気になって
たんだけど
はい？
貴方達二人で
セックスとか
しないの？
え…？
それとも二人きりの
時にしてたりするの
かしらね？
いや…
ここ以外で特に
そういうことは…
あらそうなの？
それは勿体ないわね
折角だし二人で
してみたら？
見てみたいわ
二人がセックス
してるところ
いやでも…
カオルも僕なんかと
じゃ満足出来ないと
思いますし…
そんなこと
無いでしょ
ぼくは
大丈夫だよ？

え？
ぼくはアキラとならしてみたいし全然OKだよ？
実は前から興味はあったんだけどね
そ…そうなの？
よっと
うん♪
いつかアキラの方から来るかなって思ってたんだけど
もっとぼくの方から積極的に行くべきだったかも
ね　アキラ
ぼくとしよ？
ぐいっ♥
ぼくが満足出来ないなんてこと絶対無いからさ

ですって
カオルちゃんも
ああ言ってるし
してあげなきゃ
可哀想よ？
は　はぁ…
…なんか
すごいドキドキ
してきた
ぼ…僕も…
じゃあ…
いくよカオル…
ん　おっけー
いつでもいいよ
はっ
はっ
カオル…
ホントにいいの？
勿論だよ
アキラはぼくと
するのはイヤ？
えと…
してみたい…
んじゃ大丈夫だね♪
ぷっ
ぷっ
ぷっ
ぷっ
あっ…んんっ…
挿入(はい)って来たぁ…っ

は…挿入ったよカオル…
はっ
はーっ
はぁ
はぁ
んんっ…アキラのが挿入ってるぅ…
これがカオルのっ…
ぱちゅ
しゅっ
ぱちゅっ
しゅこ
んあっ…アキラ激しッ…
ぱちゅ
ぶちゅ
ア…アキラ？ぼくのお尻気持ちいい？
ぱちゅ
ぱちゅっ
うっ…うんっ…
ぷちゅ
ぶちゅ

か…かおるぅ…っ
んんっ…
いいよアキラッ…
アキラのおちんちん
すごく硬くてっ…
ぱちゅ
ぱちゅっ
ぷるぷる
ぱちゅっ
くっ…うぅっ…
もう…っ
ぱちゅっ
ぱちゅ
びくっ
びくっ
びくっ

ぶびゅっ

ぶびゅるるっ

ぴゅるっ

おあぁッ

はーっ

ドロ…

コプ…

はぁーっ

はぁ

えへへ…
どうだったアキラ
はぁ
よ…良かったよ…
凄く良かった…
はっ
あはは
ぼくもだよ
別にユカリさんと
比べるものでも無いけど
満足出来ないなんて
ことは全然無かったよ
なんだろね？
相手がアキラ
だったからかな？
さて次は
ユカリさんの
相手しなきゃだね
アキラは休んでて
大丈夫だよ
えっ…あ…
あら
もういいの？
へへへ
へっへー
ぼくだって日々成長
してるんですよ
ま…待って
カオル
ぱしっ
おっとと？
どしたのアキラ
もう一回したいの？
…ぼ…僕も…
僕もカオルに
挿れて貰いたい
んだけど…
ダメ…かな？

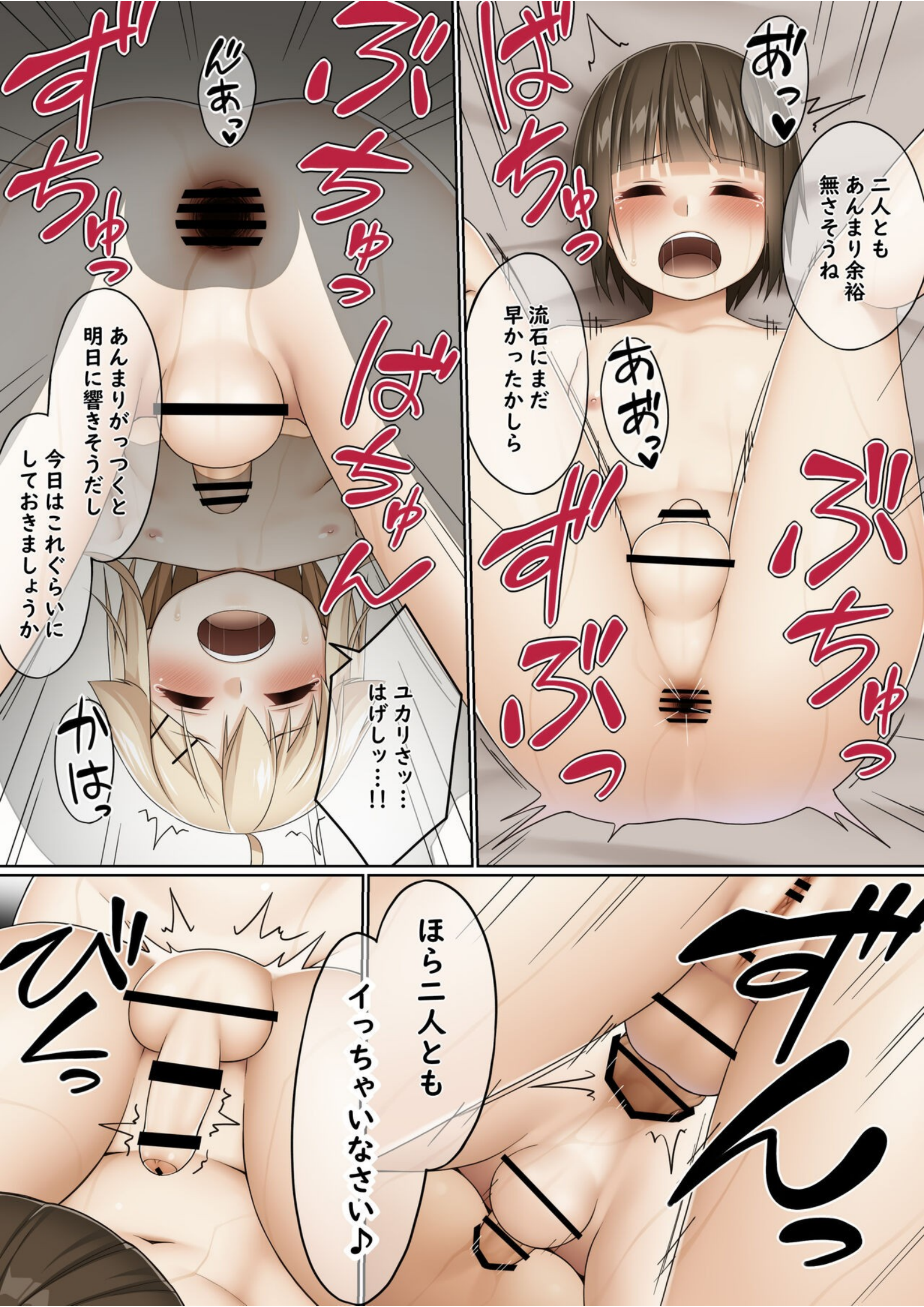
ぼくは構わないけど…いいの？
ぼく殆どしたことないから多分下手だよ？
大丈夫だよ
僕がカオルとしたいだけだから
それに僕だって興味はあったんだ
カオルのおちんちんはどんな感じなんだろうって
カオルに犯してもらいたいな～…なんて…
ダメ…かな？
だから…さ
ぐいっ

うっ…
う？
うおーっ
アキラーッ
わあっ
わぁぁぁっ
カ…カオル？
あんまりそうやって
人を誘惑するような
ことは言わない方が
いいと思うよ？
ぼくだって一応
男としての欲は
あるんだからね!!
ぐっ
んんッ
ずぷんっ
んっ…んあっ

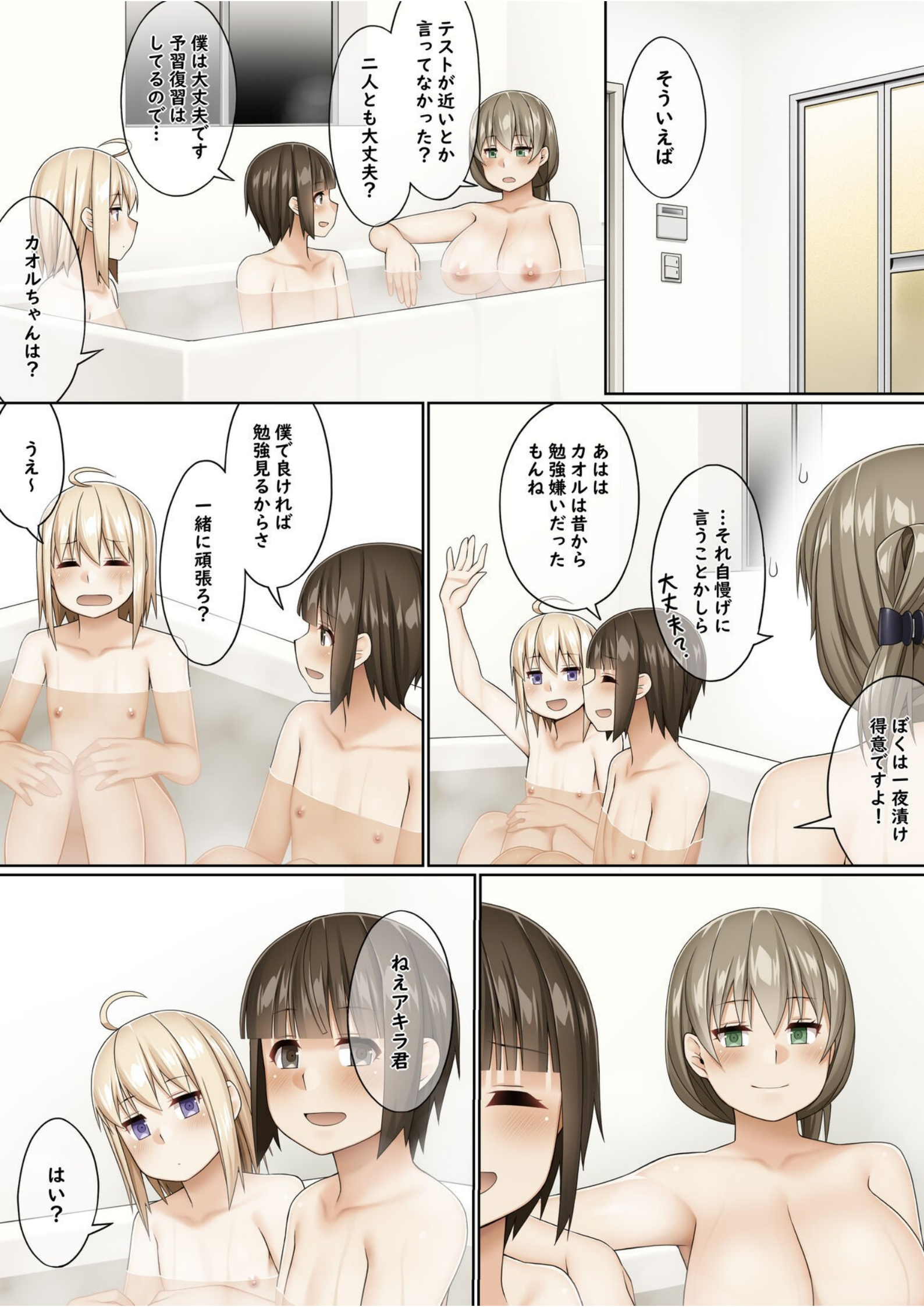
これがアキラの中の感触なんだね
はあ
ユカリさんのとはちょっと違う感じ…っ
ぱちゅ
ぱちゅっ
んうっ…カオルッ…
ぷちゅ
はっ
えへへねぇアキラちゅーしよ？
はあ
ぱちゅっ
んっ…
ちゅっ
ぱちゅ
ぷちゅ
ぱちゅん
ちゅるっ
ごめんなさい我慢出来ないわ
ぐいっ
んンッ!?

ちょっ…
ユカリさん!?
二人の邪魔したら
悪いからもう少し待つ
つもりだったけどね
限界だわ♪
カオルちゃんなら
平気よ平気
あ…後でちゃんと
ユカリさんとは
しますからっ…
今挿れられたら
頭おかしく
なっちゃう…!!
それに気持ち良すぎて
意識飛んじゃうぐらいの
セックスは一度
しておくべきよ
他じゃそういう経験は
なかなか出来ないからね
ずぢゅんっ
んあぁッ!!

んおッ…!!
んぁあッ…!!
ね？なかなかイイものでしょう？
今度アキラ君にもしてあげるわね
まったくもう
あんな可愛らしいこと私の目の前でやるなんていい度胸してるわねホント
ぱちゅっ
ずちゅ
ずっ
ずちゅん
ふふ　アキラ君もどうかしら？
カオルちゃん越しに伝わってくる振動も結構いい感じでしょ？
ぱちゅっ
ぶちゅっ
ぶぢゅん
んおッ♥
おッ♥


ぶちゅっ
ばちゅっ
ずぶっ
ぶちゅっ
ばちゅん
ずちゅっ
ずんっ
びくっ
二人ともあんまり余裕無さそうね
流石にまだ早かったかしら
あんまりがっつくと明日に響きそうだし今日はこれぐらいにしておきましょうか
ユカリさッ…はげしッ…!!
ほら二人ともイっちゃいなさい♪

ぶびゅるるっ
ぶびゅるるっ
んおおッ
びゅくっ
どくんッ


そういえば
テストが近いとか言ってなかった？
二人とも大丈夫？
僕は大丈夫です予習復習はしてるので…
カオルちゃんは？
ぼくは一夜漬け得意ですよ！
…それ自慢げに言うことかしら
大丈夫？
あはは カオルは昔から勉強嫌いだったもんね
僕で良ければ勉強見るからさ
一緒に頑張ろ？
うえ～
ねえアキラ君
はい？

テスト以外に何か悩んでることとか無いの？
私で良ければ相談に乗るけど
悩み…ですか？
う～ん…
前は人間関係の事でちょっとあったんですけどね
今はもう解決したので特には…
あらそう？それならいいのよ
しいて言えば今はその…
え…えっちが上手くなるにはどうしたらいいのかな～とか
あ　わかる～ぼくも同じ悩み～
カオルはもう十分だと思うけど…
いやあユカリさんにされたい放題だしね～
それは仕方がないのでは…？
なるほどねわかったわ
ざばっ
私がしっかりレクチャーしてあげるわ
もう一回ヤりましょ
今身体洗ったばかりなんですけど…
また洗えばいいじゃないそれにお風呂場なら色々出し放題よ
それならぼくもう一回アキラとしたいな～

ふたなりとのつきあいかた

発行日　:2021年7月
発行者　:プッシュマイン
作画　:かまた(@kmttntn)
ロゴ制作 :野谷亨(@10ru00_R18)
twitter　:@push_mine
pixiv　:users/67031230
連絡先　:pushmine@pushmine.sakura.ne.jp

１８歳未満の閲覧・購読禁止です。
無断転載・複製・複写
インターネット上への掲載は禁止です。